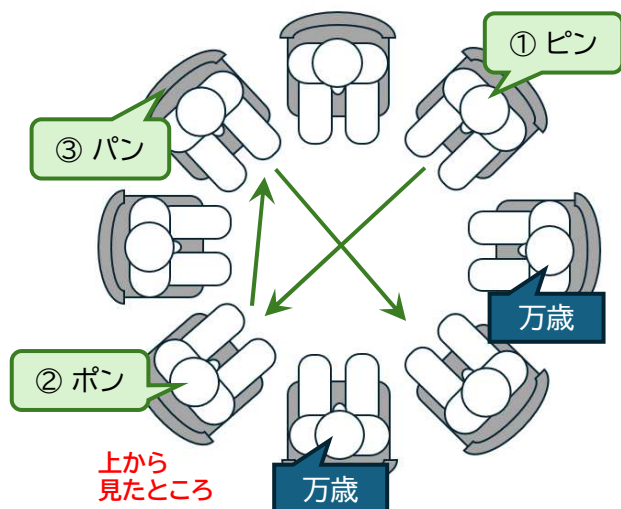


## 指さし鬼 (ピン・ポン・パン)

【 判断力 】

難易度 ★★☆☆

楽しさ 😊😊😊



### 【 概要 】

- ・順番(鬼)を、次の方を「指さし」することで、自由に廻していく遊び
- ・「ピン」「ポン」「パン」の掛け声を繋げながら、指定された動作を行う。
- ・誰が指さされたのか、掛け声に応じた動作を、自分が行う順番かを判断する。
- ・予想外に廻ってくる順番(鬼)や動作に備えて、次々と判断する他に、記憶力や視空間認知力も使います。

### 準備

- ・ 6～10人程度のグループに分かれ、輪になって座る。
- ・ ジャンケン等で、ゲームを開始する「1番手」を決める

### 方法

- ・ まずは、基本的な順番(鬼)の廻し方を練習しよう
- ① 1番手は、「ピン」と言いながら、誰かを「指さし」て2番手を指名する
- ② 2番手は、「ポン」と言いながら、誰かを「指さし」て3番手を指名する
- ③ 3番手は、「パン」と言いながら、誰かを「指さし」て新たな1番手を指名する
- ・ 「パン」の後に、ルールが追加されることを説明し、ゲーム開始へ
- ④「パン」で指さされた、新たな1番手の両隣の方は、「万歳」する
- ⑤＝「パン」で指さされた、新たな1番手の方が、①を行う
- ・ 「ピン」「ポン」「パン」が続かずに途切れたら、最初から再スタートしばらく繰り返し、ひと盛り上がりしたところで終了

### チャレンジプログラム

「万歳」の動作を行う方に、「1」「2」「3」・・・と、何回目の「万歳」なのかを数えてもらう。途切れずに10回目まで、「ピン・ポン・パン」を続けられるか挑戦しよう

また、「ピン・ポン・パン」の掛け声や、「万歳」の動作を他のものに置き換えると飽きずに楽しく事ができる。

### 【 難しくする方法 】

★★★ 「ピン」「ポン」「パン」のテンポを速くしたり、テンポから外れないことを求めると、かなり忙しくなり、難しい。

★★★ 「ピン」「ポン」では指差しをせずに、次の方を視るだけのアイコンタクトに変えると、表情や視線から判断するため、難しい。